

「自分ごと」だけでなく「自分“たち”ごと」（一人称“複数”）で語る人権教育を
～今こそ「集団づくり」の継承と改革を～



第2回 研究部会 府立人研だより

(Web 開催)

大阪府立学校人権教育研究会事務局
2021年9月14日 第7号発行

日時：10月1日（金）15：00～17：00

開催形式：Web 会議システム「Zoom」でのリアルタイム配信

教材	進路保障	ケーススタディ
<p>多様性のある社会をつくるための「想像力」を培う人権ホームルーム</p> <p>報告：府立成城高等学校 定時制の課程</p>	<p>学校間連携を通して多様な進路を保障する取り組み</p> <p>報告：府立和泉総合高等学校 定時制の課程 府立すながわ高等支援学校</p>	<p>この悩み、聞いてくれへん？ ～外部とつながるファーストステップ～</p> <p>講師：近藤美登志さん（西淀川区役所保健福祉課 元職員） 西成区役所保健福祉課子育て支援担当者</p>
<p>誰もがマイノリティの部分がある。誰もがマイノリティになる可能性がある。自分自身が当事者意識をもち、当事者として考えることによって「この社会では本当に人権や多様性が尊重されているのか」を見つめ直すきっかけとなるのではないのでしょうか。</p> <p>成城高等学校（定）では、全校生徒を対象に、多様性のある社会をつくるための「想像力」を培う人権ホームルームを実施されました。生徒たちが当事者意識をもち、人権課題を見つめ自分たちごととして考えていくために行われた実践の内容を報告していただきます。</p> <p>人権学習教材交流会！</p> <p>今回の教材交流会は Web 上での交流となりますので、当日にご紹介いただける教材のデータを事前に府立人研事務局にメールでお送りください。参考となる画像や新聞記事の紹介でも大丈夫です！ 教材の締め切りは9月27日（月）とさせていただきます。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の流行が広がるなか、予期せぬスピードで社会の变革が進んでいます。教育現場においても対応が求められていますが、同時に譲ってはならないものが存在することも事実です。</p> <p>その一つは、支援教育において、就労を通じた子どもたちの社会的自立支援に、学校教育が多様性をもって取り組まなければならないことです。障がいのある子どもの可能性を最大限に伸ばすには、障がいの状況に応じた柔軟な教育を推進することが重要です。本人や保護者の主体性をできる限り尊重し、一人ひとりの希望に応じた就労や進学の実現に努めることが求められます。</p> <p>今回は、障がいの状況や進路希望に応じた多様な進路指導の実践事例について、定時制高等学校と高等支援学校からそれぞれ報告していただきます。</p> 	<p>今回のケーススタディ部会では、「福祉との連携」をテーマに、学校と福祉機関が繋がるための「きっかけ作り」と連携の在り方について取り上げます。どんなケースの時に、どの外部機関に相談するのか、学校と福祉機関が連携・協働するためのポイントは何かなど、福祉行政の方からお話をさせていただきます。</p> <p>生徒の様々なケースにどう対応するのか、生徒たちが安心して学校生活を送るために私たち教職員に何ができるのか、一緒に考えていきましょう。</p> <p>教職経験年数の短い先生をはじめ、たくさんの先生方の参加をお待ちしております。他にも悩まれていることがあればケーススタディ部会へ！奮ってご参加ください！ どのような支援が大切かを交流しながら考えていきたいと思っております。</p> 

府立人研 大阪府立学校人権教育研究会

〒533-0024 大阪市東淀川区柴島 1-7-106 府立柴島高等学校内
(通郵便は「府立人研」とお書きください。)

TEL・FAX 06-6324-3822 (直通) (お電話の場合は、火曜日をお願いします。)

E-mail furitsujinken@nifty.com (お問い合わせは、なるべく Eメールをご利用ください。)

ホームページ URL <http://furitsujinken.in.coocan.jp/>



↑府立人研 HP も
チェックしてくださいね

「府立人研だより」の掲示・配布をお願いいたします。各校の人権教育の充実にお役立ていただけましたら幸いです。